

## 80 歳以上の部 医師部門

受賞者： おりも折茂 はじめ肇（87 歳）

公益財団法人骨粗鬆症財団 理事長

### ヒトは骨と共に老いる。丈夫な骨で健康寿命を支える



折茂氏は、日本の高齢化社会を見据えて、1964 年に日本で初めて誕生した東京大学医学部の「老年学教室」に入室し、カルシウム代謝について国内外で研究を重ねてきた。米国留学時にカルシトニンと呼ばれるホルモンがカルシウム代謝に深く関連することを学び、カルシトニンを医薬品とする研究開発を続け、1993 年に製造承認取得に至った。現在では「骨粗鬆症」は老年特有の疾患であること、そしてその治療によって骨折を防ぎ、高齢者の QOL を高めることは広く知られているが、この啓発活動は折茂氏の長年の研究と啓発活動の賜物である。

超高齢社会である日本で、多くの高齢者の健康寿命を延伸することは、社会的、経済的に日本社会の発展に資することであり、一般市民に対する骨粗鬆症の啓発活動を進め、骨粗鬆症による骨折予防などを目的とした 1991 年の骨粗鬆症財団の発足に尽力した。発足時からボランティアとして理事に就任し、2001 年より理事長を務める。同財団では骨領域の研究者に対して研究助成金の交付を行うことや、一般市民を対象とした公開講座やイベントを開催することでわかりやすく骨量の維持の重要性を説き、成長期にしっかりと骨を作ることが健康寿命の延伸にとって欠かせないことから、幅広い世代の人に対する啓発活動に努めている。

推薦者： 井藤 英喜 東京都健康長寿医療センター 名誉理事長